

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 26 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県みやま市高田町今福766

住 所

株式会社 河建

氏 名

代表取締役 河野 秀敏

電話番号 0944-22-3711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

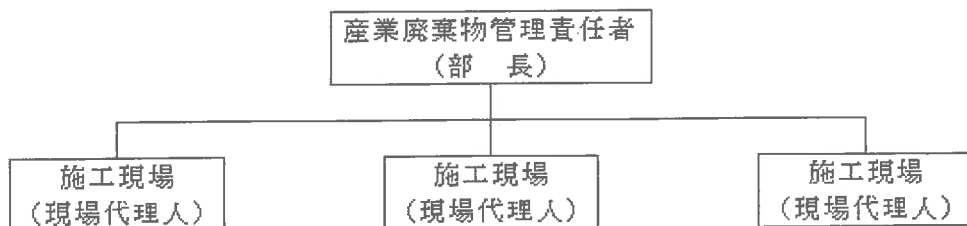
事業場の名称	株式会社 河建
事業場の所在地	福岡県みやま市高田町今福766
計 画 期 間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	完成工事高 (2年平均) 1,250,585千円
③ 従業員数	36人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①施工現場 (産業廃棄物⇒分別) ②運搬 ③中間処理場 ④最終処分場 または 再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	1,811 t	37 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	排出量	7 t	2 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	5 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	排出量	3 t	2 t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
（これまでに実施した取組） 廃棄物の分別を行い、減量に努めている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	1,630 t	33 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	排出量	5 t	1 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	4 t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	排出量	2 t	2 t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
（今後実施する予定の取組） 廃棄物の分別を行う等により、減量に努める。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場での廃棄物分別徹底。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場での廃棄物分別徹底を継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,775 t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別を行い、減量に努めている。			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,597 t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3 t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 廃棄物の分別を行う等により、減量に努める。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,775 t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

(これまでに実施した取組)  
中間処理の後再資源化する。

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	1,597 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

(今後実施する予定の取組)  
中間処理の後再資源化する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 ( 6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥
①現状	全 処 理 委 託 量	36	t	37	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	36	t		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	36	t	37	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃プラスチック類		建設混合廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	7	t	2	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1	t	2	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	7	t	2	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	(これまでに実施した取組) 再利用業者や優良認定処理業者への委託。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類		がれき類		汚泥
	全 処 理 委 託 量	32	t	33	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	32	t		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	32	t	33	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃プラスチック類		建設混合廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	5	t	1	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3	t	1	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5	t	1	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t	
(今後実施する予定の取組) 分別を徹底するとともに、可能な限り優良認定処理業者 再生利用業者への委託を行う。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 ( 6年度) 実績】				
産業廃棄物の種類		木くず	繊維くず	
①現状	全 処 理 委 託 量	5 t	0 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 t	0 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		金属くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	3 t	2 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3 t	2 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
(これまでに実施した取組) 再利用業者や優良認定処理業者への委託。				
【目標】				
産業廃棄物の種類		木くず	繊維くず	
②計画	全 処 理 委 託 量	4 t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4 t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		金属くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	2 t	1 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 t	1 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
(今後実施する予定の取組) 分別を徹底するとともに、可能な限り優良認定処理業者 再生利用業者への委託を行う。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度 ( 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		